

## 近頃興味を感じた保育の一節

福島市立福島幼稚園

須子 トミ

本年一月の末の頃、内務省衛生局で印刷した流行感冒傳染の有様の畫を見せて、「人の前で咳をするときは、口に手を當て、わきを向ひてなさい。咳からうつたり人にうつらしたりするのですから」と申聞せられたれば、各兒、咳の出るときには、口に愛らしき手を當て、なすやうになつた。中に手をあてずにするものあるときは、「あれ、達ちやんは、お手を口にあてないでして居るよ」など、とがめるものも出來た。その中に「先生、マスクをかけるとおて、をあてないで咳をしてもよいのね」と申すものも出來た。「ほんどうにそうですね。マスクをかければよいですね」と申せば「先生、私マスクあるよ」と、一人申せば、私もある、私もある、と人にまける事をきらひな子供の事として、そこに集つて居る者が皆マスク持ちになつてしまつた。それで其翌朝はマスクをかけて來たものが多數あつて、これ見よがしにとつたりかけたりして見せて居る。又、翌日になると一層にマスク、使用者が多くなつた。かけぬ者はうらやましさうに見

て居る。二三日たつうちに、園内はマスクの世界になつたやうだ。然しながら、性來子供はまがなすきがな喋舌らずには居られない。草木を合手にして迄喋舌つて居る。しやべる事がなければ、歌をうたふ。歌を知らねば、自作の歌をつき事なく歌つて居る。歌ひあきれば、わけもなく大聲を出す。一時も黙して居られぬは、幼兒自然の本能である。してみれば、如何にマスクが、幼兒にとつて不便であるか、又、苦しい事であるか、一時間はおるか、三十分もかけつゝけて居ることが出來ないのである。處で、子供は忽ちにかけたマスクは、あごをさへとなり、時には、目にかけて、めくら鬼事遊びを爲すものさへあつてマスクも一つの玩具になつてしまつた。無理もない事である。そこで、私は、幼兒に向つてマスクを獎勵する事は出來なかつた。子供は、園内でマスクの咄とマスクを遊戲の道具にして居る所より、幼兒の慾求を満足せしむる爲めに、明日の保育材料に、折紙にもマスクの製作を試みんものと、色々工夫せ

しも、なか／＼幼児の歓迎を受けられやうもない。それで、幼児自身に工夫させるも又面白かるべしと、幼児の前に紙と鋏を配布した。幼児等は、各、紙を切りはじめた。四角に切るものもあれば、長方形に切るもあり、初めからマスク形に切つてしまつて困つてるものもあつた。しばしは自發的の仕事なれば、幼児の全精神はマスクに集注され驚くばかりの注意が拂はれた。中に一人の女兒が、「先生出来ました」と、自分の鼻にあて、先生の前に來た。どれどんなに出来ましたかと手に取り見ればこは如何に、眞のマスクと少しも異ひがない。私も感心して、自分が前に工夫して幼児に示さんとしてよい工夫の出でざるに、今此幼児の工夫せしにはいたく驚かされた。今、幼児の工夫せしマスクは長方形の紙を殆んど四角に二つに折り、輪の方を上にして、かぶとをたむむと同じやうに兩端を折りふちをつくり、横につぶして、裏表重ねたまゝ、狐面のやうになす。

他は餘り類似のものもなかつた。そこで幼児一同に「百合ちゃんのことしらへた。マスクをご覧なさいよ。出来ましたね、之を皆さんでつくりませう」と之れを手本にして、こしらへた。むづかしくなくつて眞

のマスクが出来たから、皆から大歓迎、百合ちゃんは大満足、次から次と此マスクの製作で、忽ち園内紙マスクの大流行。糸をつけてかくるもあり、先生糸を付けて下さいと持ち來るものもあり、いつしか此紙マスクが遠く廣まつて、小學校の小供までがつかるやうになつた。處で、本マスクは蔭も形もなくなつて、紙マスク全盛となつてしまつた。こんどは、紙マスクをつくる事が盛んになつて、此處彼處に集りて、マスクの折紙に面白がり、之れを澤山造りて、マスク商ひ遊びを始めた。賣るもの買ふものなかくの賑やかさ。かくして遊びはどこまでもつくる事がなかつた。

### ○日本幼稚園協會總會

本會第二十四回總會は別項の通り來る四月二十四日(第四土曜日)午後一時半より東京女子高等師範學校附屬幼稚園に於て開催の筈。何卒多數お誘ひ合せて御來會下さる様にお勧めします。